

ノーツコンソーシアムオープンセミナー

事例研究会 活動報告

2019年11月20日



事例研究会とは?



研究会の目的

会員企業が知っている事例の収集と業務課題を解決するアプリの利用 などからNotesの活用によるベストプラクティスの探求とアセスメント 対象:ビジネスユーザー、課題解決型ベンダー

発足の経緯

- 前身となる研究会がパッと見で何をやるのか分かりにくく、参加しにくい
- ユーザー企業の担当者が参加しやすい研究会が少ない
- 他社事例に興味があるが、自社で紹介する様な事はやっていないと言う声

2019 事例研究会 年間活動カレンダー



No	開催日	内容
第1回	4月11日	キックオフ / 年間活動計画策定 公開事例の紹介
第2回	5月22日	運用上の工夫や落とし穴の共有
第3回	6月21日	ユーザー情報交換会とのジョイント企画 @ 品川
第4回	9月19日	ヘルプデスク & インフラ・アプリの標準化
第5回	11月14日	オープンセミナー発表準備



事例のご紹介

近年の公開事例整理







イグアスVerseハイブリッド... 2019年11月6日、更新者: 松... ••• 605.1 KB



第一生命Notesアプリ事例.pdf 2019年11月6日、更新者: 松... ••• 772 KB



7.9 MB





近年の公開事例整理







浜松ホトニクス事例発表(配... イグアスVerseハイブリッド.

20・ イベント登壇した企業の事例が多い

第一生命Notesアプリ事例.pdf 2019年11月6日、更新者: 松... •••

- クラウド、モバイル、AIなどの技術トレンドを取り入れたもの
- 企業のグローバル化に応えるもの



住商モンブランConnections... 2019年11月6日、更新者: 松... •••

7.9 MB

中部国際空港モバイル事例.pdf 2019年11月6日、更新者: 松... ・・・ 721.4 KB



エームサービスNotesアプリ... 2019年11月6日、更新者: 松... ••• 438.8 KB

近年の公開事例整理







意名主义人の影響イン・プランやレーをあるのからから、 の事務をからから着く者・生意をする となるレグ・アウミ社

1000年の日本のできませる。 1000年の日本のできませる。

兵松ホトニクス事例発表(配... イグアスVerseハイブリッド..

20・ イベント登壇した企業の事例が多い

第一生命Notesアプリ事例.pdf

2019年11月6日、更新者: 松... •••

772 KR

438.8 KB

- クラウド、モバイル、AIなどの技術トレンドを取り入れたもの
- 企業のグローバル化に応えるもの



住商モンブランConnections... 2019年11月6日、更新者: 松... ・・・ 7.9 MB THE PART OF THE

中部国際空港モバイル事例.pdf 2019年11月6日、更新者: 松... •••

721.4 KB

ポータル

エームサービスNotesアプリ... 2019年11月6日、更新者: 松... •••

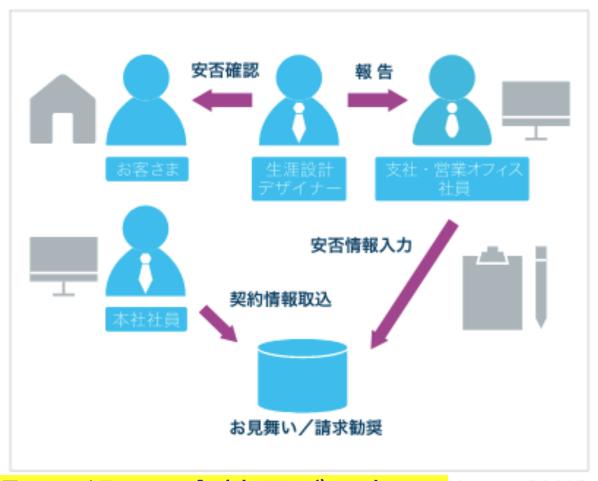
第一生命様 アプリ事例



(全社2万人の情報インフラの中心であるNotes。20年間のNotes活用で第一生命が培ってきたノウハウとは)

東日本大震災時の安否確認システムにも活用

Notesならではの短期間でのアプリケーション開発事例の1つが、東日本 大震災発生時のお見舞/請求勧奨システムです。生涯設計デザイナーと 呼ばれる第一生命の営業担当者が契約しているお客さまの安否を確認し、 その結果を登録するためのものです。約86万件の契約情報をNotesデータ ベースに取り込んで、支社や営業オフィスの社員が一丸となって安否情報 を入力できるようにした後、進捗管理や集計の機能を順次追加しました。 「お客さまの無事を確認し、また契約内容に応じた保険金を速やかにお支 払いできるようにするため、できるだけ早くシステムの構築を行いたいと 考えていました。基本となる契約情報のデータベースと連携するものでし たが、Notesを使ったことによりわずか13日でリリースし稼働させながら 機能追加もできました」(平工氏)。



わずか13日間で、約86万件の契約情報を取込み、全社員が一丸 は 情報システム講演資料)

となって入力可能な、安否確認システムを稼働させた!

Notes/Domino ここが凄い! (導入編)



- 1. 開発スピードが凄い!
 - ⇒直ぐに開発できる圧倒的な生産性
- 2. カスタマイズ性が凄い!
 - ⇒ 進捗管理、集計、承認など複雑性も対応
- 3. 導入規模が凄い!
 - ⇒ 数万人規模の全社プラットフォームにも対応





ヘルプデスクの悩みと解決策の検討



スキルの属人化やノウハウの非共有

- ・ヘルプデスクスタッフの成熟化に伴い、ノウハウが人に紐く
- ・異動時に話題になるが、バックオフィスへの投資が難しい

IT以外のヘルプデスクも同じ悩み

・人事や総務も同様の悩み抱えているケースが多い





FAQの整備や、チャットBOT化

- ・先ずはノウハウをデータ化し、FAQを整備する
- ・チャットBOT化して、利便性を向上させる

標準化のへの課題と、解決策の検討



ドキュメントの標準化

- ・記入レベルがバラバラで、品質が保証できない
- ・ドキュメントの見方、書き方が分からない

アプリケーションの標準化

・何度か標準化を試みたが、何故か定着しない





ドキュメントは標準化するがアプリは難しい、、、

- ・ドキュメントのテンプートを作成し、これを徹底する
- ・アプリは簡易なものはテンプレート化するが、複雑なものは個別対応
 - →シンプルな作りか利便性を追求するか、振り子関係になる



運用の工夫や落とし穴の検討

運用上の工夫や落とし穴の検討



ユーザー管理

・ DJX管理ツールは便利だが、運用によってカスタマイズすることがある

ID管理

・1つの管理者IDを複数人で使いまわす例があり、運用」

運用にゴールは無い

グループカレンダー

・カレンダーオーバービューやOnTimeの活用が有効だが、開発するクレスも多い

ポータル活用

・情報の統制やDBの整理、プッシュ配信のニーズが高い

MS Teams

・即時性は高いが過去情報や大人数の使い勝手が悪い













利益を生むのはどこか、目的は何かを見極める!

移行することが目的ではない

・ 導入(移行)すること自体は、利益を生まずコストでしかない

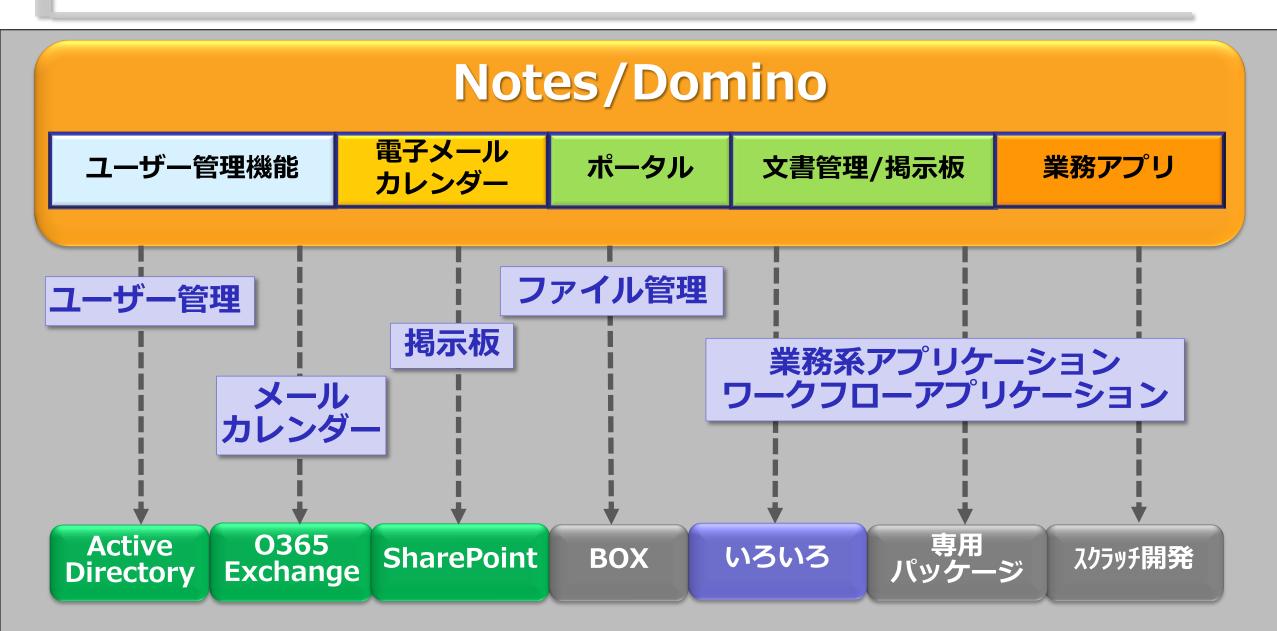
運用で利益を出すことが目的

・ 導入(移行)後、運用が成功してはじめて利益を生む

産みの苦より、育ての苦が重要!

・運用の仕方で利益を享受できるか決まる

最適なプラットフォームがNotes移行でバラバラにされる



ポータルパッケージ導入におけるハードル



導入インフラにおけるハードル

・ポータル用に、専用サーバーやネットワークを構築するのは大変

導入ソフトにおけるハードル

・専用のポータルソフトの導入は、ライセンスが高く管理者教育が大変

利用者情報をリンクするハードル

・ポータルと利用者情報を紐づけるのに、ユーザー情報の管理が大変

運用におけるハードル

・構築後、専用のインフラとソフトの維持・メンテナンスが大変

ポータルの構築は、導入も運用も大変だわ・・・



ライブネスポータルでハードルをクリア!



既存のDomino環境を利用可能!

・既存のDominoサーバーを利用することで、追加のインフラは不要

システムはNotesデータベース!

・Notesデータベースなので、追加ソフトや管理者教育が不要

Dominoディレクトリでユーザー管理!

・既存のユーザー文書やグループ利用して、利用や閲覧が制御可能

運用負荷は必要最小限!

・バックアップも既存Domino環境を利用可能で、運用負荷が最小限

ライブネスポータルの導入でハードルをクリア!

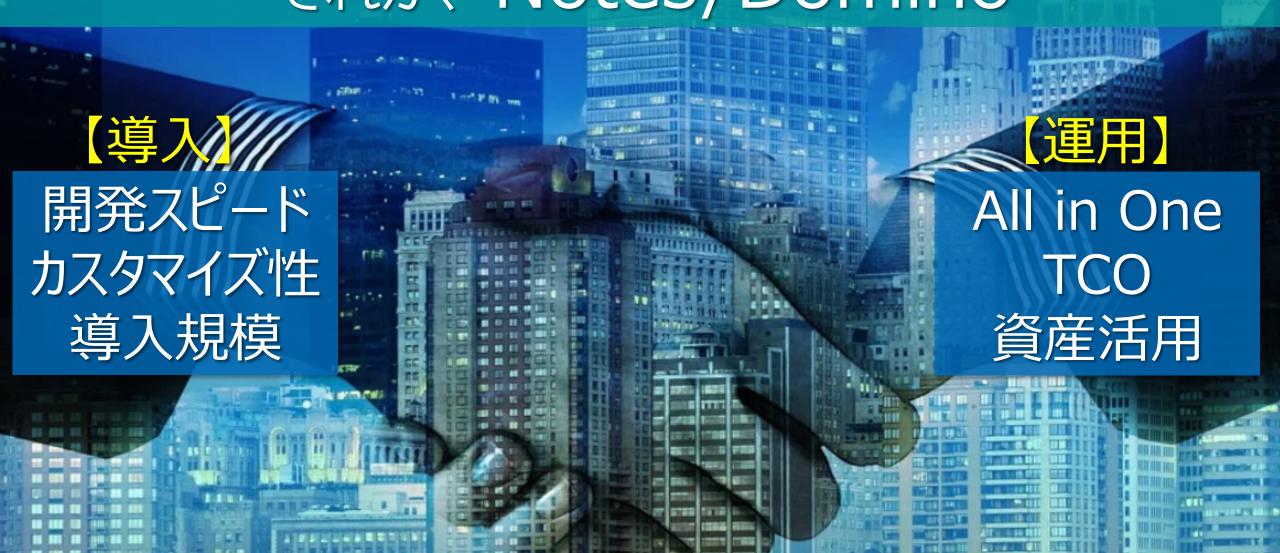


Notes/Domino ここが凄い! (運用編)



- 1. オールインワンで保守性が凄い!
 - ⇒ 一つの基盤で、全てを網羅できる
- 2. TCOが凄い!
 - ⇒ ライセンス、保守費用のメリットが大きい
- 3. ノウハウ・資産蓄積が凄い!
 - ⇒ 長年蓄積したデータを有効活用できる





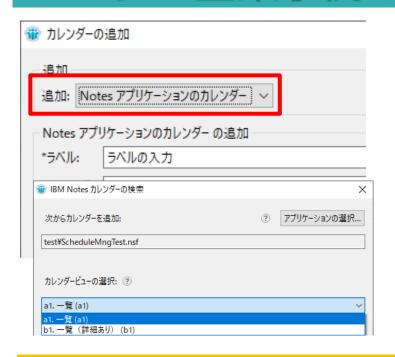


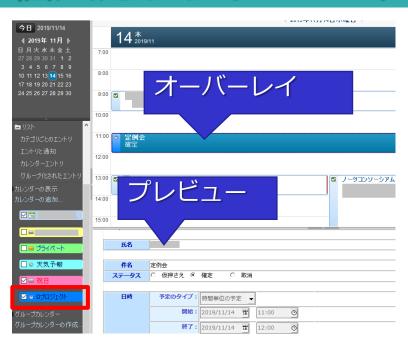


ユーザー企業の事例と参加するメリット



ユーザー企業事例:個人カレンダー・オーバー例機能の活用







参加するメリット

- ・ 他社の「ちょっとした事例」を聞くことで、自社へフィードバックできる
- ・ 自社の「ちょっとした悩み」を共有でき、解決のヒントを得られる
- ・ 解決できなくても、他社も同様の悩みがあることを知り、余計な悩みが減る

ユーザー情報交換会の紹介



ユーザー情報交換会とは

- ・ユーザー企業同士で事例を共有したり、ディスカッションを行う会
- ・基本的に、ユーザー企業のみでの参加
 - → テーマによって、地方開催の場合もある
 - → テーマによって、パートナー企業の参加もある

本年度は、以下のテーマにて3回実施

- ・ 2月 : バージョン 10 への移行について(東京)
- · 6月 : ノーツDBの開発について(東京)※事例研究会とのジョイント開催
- ・10月:しくじり先生 ~俺みたいになるな!~(名古屋)





研究会活動を通してメンバーの感想



- 日々の業務を通した幅広いノーツの活用を感じることができた
- ユーザー情報交換会に参加することで、ユーザーの生の声にふれることがでた
- 公開事例を読み込むことで、ノーツの幅広い使い方を再認識できた
- ヘルプデスクのお困りごとを聞いていて、共通の悩みや立場による大変さなど製品が解決できる話だけではない事を感じました
- クラウドベースの製品はできる事の幅が狭い。アプリケーション開発の垣根が低い ノーツは自社業務を改善する文化があると感じた
- 脱ノーツプロジェクトの話で、経済的にもAll in Oneの良さを改めて感た
- 今この時代感の中で、ノーツだからできる事を発見する様な活動に育てたい

まとめ (この研究会で得られること)



- 他社の課題や事例から、様々な解決策があることを知ることができる。
- 自分がモヤモヤと思っているお困りごとを吐露できて、アドバイスがもらえる
- 人の話しを聞くことで、自分の立ち位置では見えない様々な視野を体験できる

• ただ、必ずしも解決できる方法があるとは限らない事に気付く

• 普段の仕事ではなかなか得られない 立場や利害関係を越えた "考え方のヒント" や、 自分一人では "発想できないアイディア" がもらえる場所です

運用=PROFIT

ノーツコンソーシアムで一緒に PROFITを発見しましょう!